

校
報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1429号
(令和4年度 第30号)
洋野町立種市小学校
令和4年12月23日
児童数 232名

3 学期始業式は
1月17日 (火)

冬休みは
「安全・健康」第一で

「自分でできること」が増えた

「自分達でやろうとする気持ち」が広がった

さらなる自立に向けて ~2学期終業式~

「自分が変わってきたこと」を自分で感じる人が出てきた

これまで、放送による式や中継で教室をつないでの式もありましたが、今回はみんなが集まって終業式を行いました。大雪で、大変な思いをしている方々がおられますから、その方々に、お見舞いの気持ちをもつと同時に、自分達が終業式をできることをありがたく思って終業式を行いました。

終業式でのお話から

みんなで、2学期を思い出して、1年の区切りをつけることにしましょう。

1年生は、教室に「時間を守る約束」を自分達で書いて貼っている学級です。普段の生活を見直して気がついたことを伝えたり、話し合ったりしていました。黒板の「一日のめあて」も自分達で書いています。

2年生は、1年生に「おもちゃフェスティバル」を開いてあげました。おもちゃをつくり、1年生が遊ぶのを盛り上げました。招待される側から招待する側になり、「先輩」として活動しました。

3年生は、学習発表会の取り組みが思い出されます。先生に教わるだけでなく、グループごとに分かれて自分達で練習していました。

4年生も、音楽発表会、学習発表会と自分達で進めました。困ったときにはすぐに集まって話し合うのが4年生。学習発表会での予告なしの「誕生日おめでとう」には、「やさしい学年だなあ」と感心しました。

5年生で取り上げたいのは、陸上記録会です。選手になった人だけでなく、ならなかった人も「もう一回!」と言ってたくさん走りました。自分の力を伸ばそうと一生懸命になりました。「一生懸命がんばることは楽しい」と思えた取り組みでした。

6年生は、陸上から修学旅行、学習発表会、海洋サミットとたくさんの取り組みがありました。話題にしたいのは、その一つ一つの取り組みではなく、それらの取り組みを通して、「みなさん一人一人が変わってきた」ということです。さらに、自分が変わってきた・成長しているということ、『感じている(実感)人』が出始めたということです。そうやって、自分の変化に気がつくことこそ「成長」。「さすが、下の学年よりも考えが深い」と言えるのです。変わってきたきっかけは何でしょう。何かがうまく行って「自分もすてなものではない」と思えたことかもしれません。逆に、悔しくて、涙を流したことで、かえって成長したのかもしれません。「本気」で、そして、「正直」に自分の気持ちを出せたとき、人は成長します。得意なことだけでなく、苦手なことが言えるようになったり、「悔しかったです」と人に言えるようになったり、そんな経験があって変わってきたのではないかと思います。

こうして、振り返ってみると、

「自分でできること」が増えてきたこと

「自分達でやろうとする気持ち」が広がってきたこと

『自分が変わってきた』と自分でも感じる人」が出てきたこと

が見られます。これを、「自立」といいます。

「自立」とは「自分の足で立って歩くこと」ですが、ただ道を歩くとかいう意味ではありません。「人を頼らず」、「人のせいにせず」、「全部自分でやる」ということです。

もうすぐ、お正月がきます。新しい年になると、「数え年」という歳の数え方で1つ大人になります。2学期のたくさんの成長を、新年・3学期につなげ、「さらなる自立」に向かって進んでいくことにしましょう。3学期の始業式、みんなが元気に登校してくるのを待っています。

おめでとうございます。 **20km ウォーク** **“さすが”のきめ細かい支援で大成功**

12月3日（土）に、「子ども達を支援する会」活動開始20周年（平成13年開始ですので正確には22年）を記念しての「20周年20kmウォーク（明日へ向かってウォーク）」が行われ参加させていただきました。参加してあらためて感じたのは、準備や運営のきめ細かさでした。子ども達向けには「**“ただ歩くだけ”の行事**」と言っていますが、「支援する会」の方々の動きは“さすが”と思うものでした。

「一緒に歩く班」と「見守り班」に分かれて、安全確保がされていました。



「今、〇〇さんと〇〇さんが△△を通過しました。見守りを◇◇さんに任せて□□へ先回りします。」などという連絡体制でした。



歩いている途中でトイレを借りるために、葛木会長さんが沿線の商店など1軒1軒を回ってお願いしてくださいました。



県境を越え、自分が通った階上の保育園も通り過ぎ、途中おにぎりをかじる時間も惜しんでは前に進みました。「**足はもう地獄です。**」と言いながらも、「**またこの行事があったら、また歩きます！**」ときっぱり話す子達。ゴールして、笑っているのか泣いているのか分からないくらいの、こみ上げる達成感。普段では感じることのできないこんな気持ちを味わえたのも、「**“ただ歩くだけ”の行事**」とさりりとやってのけた「支援する会」のみなさんに守っていただいたからのものでした。



明日へ向かって～今年も大変ありがとうございました～

「20kmウォーク」は別名「明日へ向かってウォーク」と名付けられていました。「どこまで歩くことができるか、自分の力を試し、挑戦しようとする体験」であり、それは、目標をもってさらに前進しようとする気持ちを持つ機会、明日へ向かう気持ちを高めるウォークでした。いよいよ新しい年がきますが、新年も、「明日へ向かってウォーク」のように、目標に向かってさらに前進していきたいです。

今年も、子ども達にあたたかい目を向けてくださり大変ありがとうございました。そして、来たる令和5年もどうかよろしく願いいたします。皆様にとって新しい年もよい年でありますように。